

大和電設工業グループのCSR活動

大和電設工業株式会社

1. はじめに

大和電設工業株式会社（以下当社）は、昭和24年8月の設立以来、東北を基盤に電気通信工事、土木工事、電気設備工事、そしてソリューションシステムの開発・販売という4つの分野を柱に事業展開しております。

情報社会の高度化、多様化の進展により、社会インフラとしての電気通信施設の重要性が高まるなか、当社は「お客様の立場」に立った発想と、多様なニーズに対応する技術と品質で、東北の情報社会の創造に貢献してまいりました。

そして、平成23年8月に株式会

社協和エクシオの完全子会社となり、さらなるグループ経営の効率化を目指した事業運営に取り組んでいるところです。

2. 経営理念とCSRについて

当社は、グループ理念で「私たちは、技術と安全・品質の向上に研鑽を重ね、1人ひとりの働き甲斐と新しい価値の創造を通して、お客様の信頼と期待に応え、自然環境に調和した豊かな社会づくりに貢献します。」と定めております。

お客様や社会からの信頼こそが生命線であると捉え、その期待に応えるため、当社は強い社会的責任意識

および遵法意識を常にもち続け行動し、情報社会における「つなぐ」サービスを提供し続ける企業として、お客様に安心と安全を提供し、環境問題や社会問題に事業を通じて貢献していきたいと考えています。

3. CSR活動を支える3要素

当社のCSR活動において、「安全」、「顧客満足（CS）」、「コンプライアンス」という3つのテーマを軸に、それぞれ目標を掲げて推進しています（図1）。

(1) 安全と品質の確保を目指して

建設業における最優先課題は、「安全と品質」です。作業の安全、車の安全運転、そして情報セキュリティの安全、これらが安全の柱となりますが、当社では「安全の鉄則」を制定し、1人ひとりが基本動作の重要性を認識した上で実践しており、お客様の安全は必ず守るという強い意識で事故撲滅に向けて取り組んでおります。また、『大和電設工業グループ安全大会』を年2回開催し、グループ一体となった安全に対する意識の高揚を図っています。

(2) お客様サービスの向上に向けた取り組み

「CS・コンプライアンス No1」を目標として、現場第一線で働く社

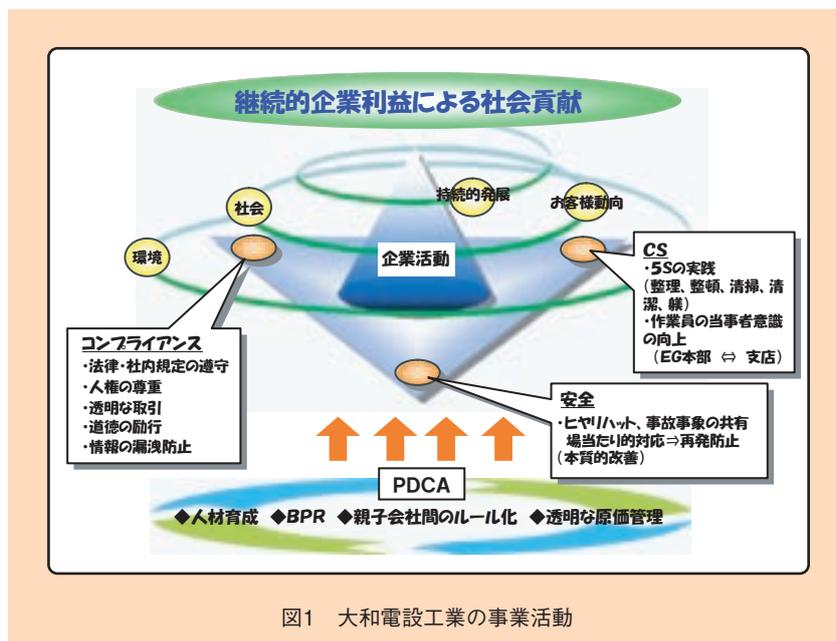


図1 大和電設工業の事業活動

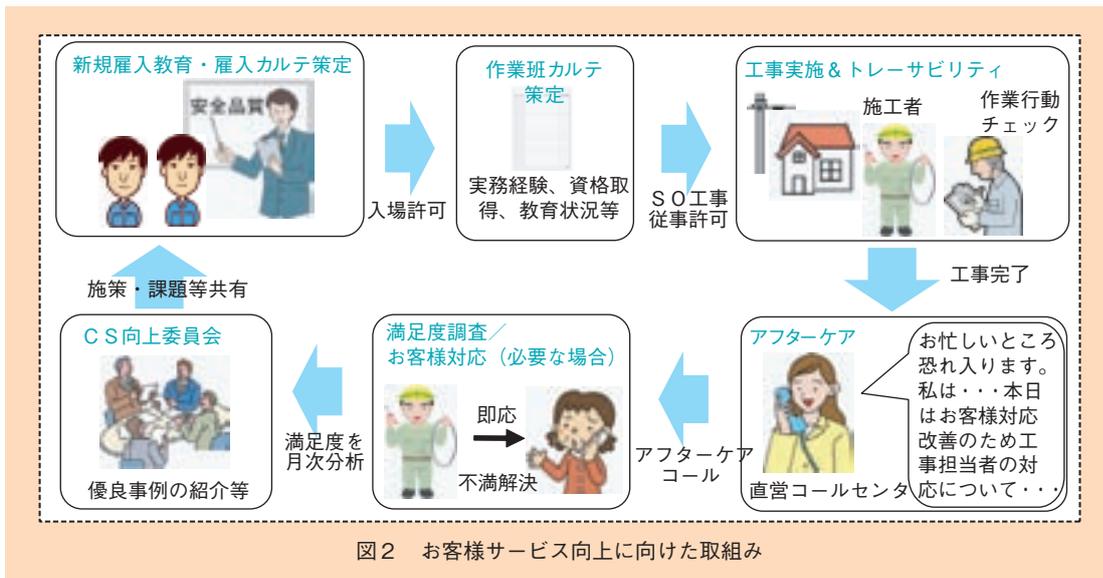


図2 お客様サービス向上に向けた取組み

員の行動や言動がお客様満足度につながることを認識し、作業者の教育および工程確認に力をいれています。

トラブルが多くなり易い新規雇入者に対し、雇入時の安全教育カリキュラムを強化し、作業班ごとの経験、資格、教育実績等に基づいた「作業班カルテ」を作成することで、技術・接客スキルを有した班だけが業務に従事できる体制を確立しております。

工事の際は、お客様と接する上で、どのような行動がCS向上につながるのか、作業班はその指針となる「お客様満足度アップポイント集」を携行しており、その施策は、同行する作業監視者による追跡調査（トレーサビリティ）により随時履行確認が行われます。

そして、工事後に至っては、コールセンターからお客様への「アフターケアコール」により工事当日の対応状況や疑問点などをお聞きしており、私たちの仕事を通じて、お客様に感動していただけるサービスを提供するよう、グループ社員1人ひとりの力を合わせ、お客様へのサービ

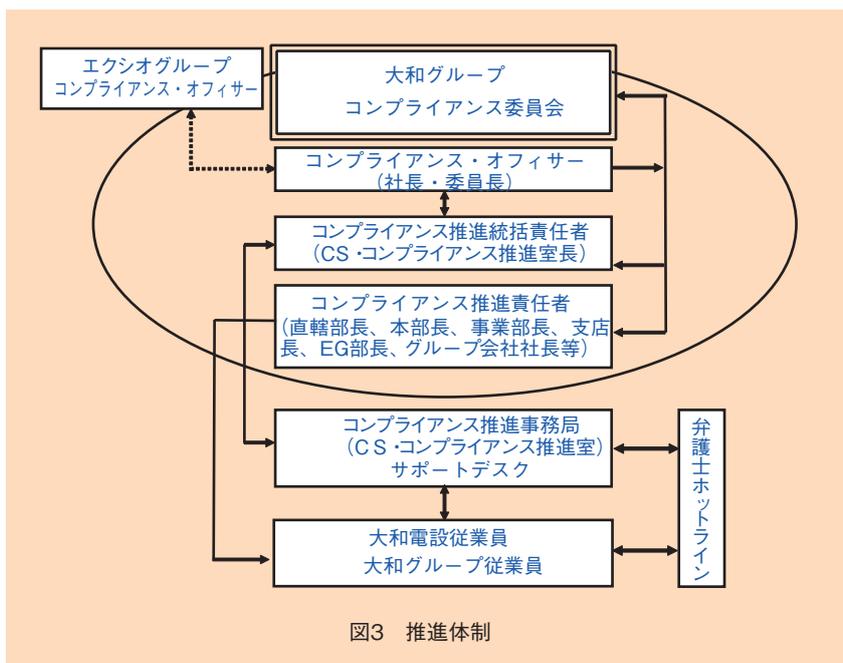


図3 推進体制

ス向上に努めています（図2）。

(3) コンプライアンスの推進に向けた取組み

当社のコンプライアンスの基本的枠組みは、「エクシオグループ理念」・「エクシオグループ基本行動宣言」を基としております。

社会に信頼される経営を実現し、そして社会的・法的責任を遂行し「社会に貢献する」というグループ

理念を実現するため、社員1人ひとりがコンプライアンス・マニュアルを基本指針として、コンプライアンスに基づく誠実な行動を実践するよう努めております。

また、平成25年4月よりCS・コンプライアンス推進室を設置し、推進体制を確立しており（図3）、コンプライアンスの浸透に向けたさまざまな施策を行っております。

大和コンプライアンスニュース

Vol. 27
発行日H25.7.3
CS・コンプライアンス推進室

■ 微小粒子状物質「PM2.5」とは

最近、中国における深刻な大気汚染の発生を受け、原因物質の一つであるPM2.5が大陸から日本に飛来し、健康に影響を及ぼすのではないかと心配されています。そこで気になるのは、PM2.5が健康にどのような影響を及ぼすのか、住んでいる地域のPM2.5濃度を知るにはどうすればよいのか、そして影響を防ぐための効果的な方法とは何か。知っておきたいPM2.5の基本知識と、日常生活の中でできる対策方法をご紹介します。

1. 大きさ

PM2.5は直径 $2.5\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ (マイクロメートル)= 1mm の1000分の1)以下の非常に小さな粒子です。PMIは「Particulate Matter(粒子状物質)」の頭文字をとった言葉です。

2. 成分

炭素成分、硝酸塩、硫酸塩、アンモニウム塩のほか、ケイ素、ナトリウム、アルミニウムなどの無機元素などが含まれます。

3. 主な発生源

(1) 物の燃焼などによって直接発生

- ・ボイラーや焼却炉などのばい煙を発生する施設
- ・コークス炉や鉱物堆積場など粉じん(細かいちり)を発生する施設

- ・自動車、船舶、航空機
- ・土壌、海洋、火山の噴煙など自然由来のもの
- ・喫煙や調理、ストーブの使用など家庭から など

(2) 様々な物質の大気中での化学反応によって生成

- ・火力発電所、工場や事業所、自動車、船舶、航空機などから燃料の燃焼によって排出される硫黄酸化物、窒素酸化物
- ・溶剤や塗料の使用時や石油取扱施設からの蒸発、森林などから排出される揮発性有機化合物 など

⇒これらのガス状物質が大気中で光やオゾンと反応し、PM2.5が生成されます。



※環境基準について

環境基本法第16条第1項に基づく人の健康の適切な保護を図るために維持されることが望ましい水準として以下のとおり環境基準を定めています。

1年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下 かつ 1日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
(平成21年9月設定)

※PM2.5に関する注意喚起のための暫定的な指針

濃度	行動の目安	備考 1時間値(※)
$85\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下		
$70\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超	<ul style="list-style-type: none"> ・不要不急の外出、屋外での長時間の激しい運動を極力減らす ・高感受性者は体調に応じてより慎重に行動することが望まれる。 	$85\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超
$70\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・特に行動を制約する必要はない ・高感受性者は、体調の変化に注意。 	$85\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

※1時間値は、暫定的な指針となる値である日平均値を1日の早い時間帯に判断するための値

自治体から注意喚起が行われたら、次のような対応を行いましょう。特に幼児や高齢者、呼吸器系や循環器系の疾患のある人は、体調に応じて、より慎重に行動しましょう。

■屋外にいるとき

PM2.5を大量に吸い込まないよう、長時間の激しい運動を減らす
マスクを着用する

■屋内にいるとき

不必要な外出はできるだけ控える
換気や窓の閉閉を必要最小限にする

図4 コンプライアンスニュース

① コンプライアンス・ニュースの発行

年4回、グループ社員向けに「コンプライアンス・ニュース」を発行し、時節に合ったテーマを選び、社員のコンプライアンス意識の向上を図っています(図4)。

② コンプライアンス小テストの実施

コンプライアンスの浸透に向けた取組みとして、全社対象に「コンプライアンス小テスト」を毎週実施しています。法令や社会的規範、モラル、品質、安全などの基本的な内容を中心とした設問で社員全体の意識醸成に努めております。

4. 社会貢献活動

地域社会との共生を大切にし、豊かな社会の実現に貢献するため、社会奉仕活動の実施や自治体と連携した美化活動への参加など、協和エクシオグループの一員として、グループ一体となった社会貢献活動を積極的に進めています。

(1) 環境保全

町内会や自治体などで行っている清掃活動に参加するほか、事業所周辺の環境美化に努めています。

① 町内清掃活動

本社(仙台市)では、毎月第2、

第4水曜日を「環境の日」と位置づけ、長年にわたり町内清掃作業を実施しております(写真1)。



写真1 町内清掃活動

② 奉仕活動

地域社会と連携し、奉仕作業を行い、地域の環境美化や活性化に役立てるように取り組んでいます。山形支店では、酒田市新田川河川敷の草刈作業に参加しました(写真2)。



写真2 酒田市新田川河川敷の草刈り活動

(2) 地域活性化のための取組み

地域行事等への協力を通じて、地域の活性化のために取り組んでいます。

① 水沢ざつつあかまつり(岩手県)

2,000人以上の踊り手が水沢駅通りを踊り歩く伝統ある祭りです。当社グループからは、21名が参加しました(写真3)。



写真3 水沢ざつつあかまつり

② 弘前ねぶたまつり（青森県）

毎年8月1日～8月7日に開催されている弘前ねぶたまつりは、勇壮で幻想的な武者絵などが描かれた扇ねぶたや組ねぶたなどが運行されます。当社グループからは、23名が参加しました（写真4）。



写真4 弘前ねぶたまつり

(3) 社会を支える人づくりを目指して

子どもが将来、社会的・職業的に自立できる力を育むことを目的とした仙台市の取組み「仙台自分づくり教育」の一環で、中学2年生2名を受け入れ、震災復旧した工事現場見学や、Excelによる名刺作成やプログラミング実習、電話取り次ぎや書類整理などを行いました。社会の中で人と人をつなぐ通信設備の大切さを学んでもらい、「仕事とは何か」を真剣に考える良い機会となりました（写真5）。



写真5 仙台自分づくり教育

(4) 暮らしを支えるソリューションシステム

自社開発の病院栄養給食管理システム「ニュートリメイト」は、病院の給食業務における献立作成・発注・

納品・在庫管理や各種資料の作成などを強力にバックアップするトータルシステムとして、医療現場を支えております。食事オーダーや検査、処方などに基づく全個人に対応した献立作成、栄養摂取量の把握・管理、栄養指導等の機能を備え、「心身の健康は食事から」と患者様1人ひとりの健康を食事の面から支えております。

現在は、500床以上の大規模病院における導入シェアが18%を超え、大学病院では32%を達成しています。需要増加が見込まれる宅配弁当分野への進出も計画しており、当製品の豊富な業務ノウハウとお客様ニーズに合わせた木目細かなシステムで今後も社会の暮らしを支えていきます（図5・詳細は「Raisers」2009年11月号p.36を参照）。

5. おわりに

当社は、安全・品質そしてコンプライアンスについて、100点満点の企業文化を目指してまいります。企業を取り巻く環境変化が激しいなか、1人ひとりが事故撲滅・品質確保に向けて原点に立ち返り、安全とコンプライアンスの基本動作の遵守に努め、1つひとつ課題を克服してグループ会社、協力会社一丸となって企業文化の形成に取り組みます。そして、企業活動による継続的利益を生むことで、企業価値を高め、これからもさまざまなCSR活動を展開し、社会的責任を果たしていきたいと考えております。

図5 病院栄養給食管理システム